

## 患者さんインタビュー

# 3か月の検診で、すごく励みになるんですね。出血率が出ますでしょ。熊田泰子さん

隅田(S)…一番初めに来られたのが、いつ頃か覚えてらっしゃいますか？

熊田さん(K)…10年前くらいですか？

S…1995年なので、19年前です。

K…そしたら、震災が18年前ですから、震災の前、うわ～すごいですね。

S…どんな感じですか？こちらに来られたきっかけとかは？

K…先生のお母様とお料理教室で一緒になって、とってもお人柄がよくて、そのお母様から息子さんが歯医者をしてますってお聞きしたんです。そのお母様のお育てになった先生だったらって思いました。

中華料理の先生がまず最初にこちらにいらして、すごくお上手でハンサムでお優しくてって、いろいろ聞かせていただいて、それから私が何うようになって、それからお友達をお誘いして、また別のお稽古のお嬢さんとか来られて。S…そのまたご紹介頂いた先のご家族まで来て頂いてますよね。

K…私も主人を誘って。男の人ってなかなかね、自分が忙しかったら、会社の近くで検診を受けて……素直に私の治療の事を聞いて、じゃあそれならって言って、今では喜んで来させていただけます。

S…一番治はじめはお口の事で困ってらっしゃったんですか？

K…私、以前2件別の先生にかかって、金のすごく重たい歯を入れられたんです。そしたら、足立先生が重かったでしょうね。それが、いつも咬んだ時に下の歯と合わないのと、重たさっていう、いつも左で咬めなかったんですよ。

3か月検診を受けさせてもらって、ここまでなんとかもってるんだって。私はいろいろ病気になるもんですからね。本当だったらもう歯がだめになってたかもしれない。

いつも隅田さんの腕でケアして頂いているおかげで、私は自分の歯を保てるなど思う。

S…19年ですごいですよね。先生は当時34歳くらいですかね。若かったですね。

私も熊田さんとお会いして、11年なんです。ずっと年に4回、11年間。いつも聞いていただいたり、楽しいお話ばかりです。

K…すごくて、歯に関して安心。相談できる。なかなかそんな先生っていらっしゃらないと思うんです。だから、本当にありがたいなって思います。だんだん加齢になると歯も傷んでくる率が多いので。

先生にね、「私最後まで自分の歯で食べて死にたい。入れ歯は母のをみてていかにつらいかわかるので。」って言うたら、先生が「ご心配なく、ぼくの方が若いですから」って言ってくださったから安心してね、毎日過ごさせてもらってます。

もうひとつお聞きしたいのは、こちらの治療はスウェーデン式っていいのですか？

この間テレビで、歯周病についているいろんな病気の本になるので、スウェーデン式がいいって。

日本で注目されているケアで、こちらは、順序はだいたい一緒だから、同じやり方ですよ。1時間かけて。

S…そうかもしれないです。

足立優歯科では、初めにお口の検査、診断を致します。出血率を測るためにしっかり時間を取って、1本の歯に対して6点測っています。出血率って、お手入れだけじゃなくても、体調を崩していたりストレスがかかっていたり、寝不足だったり、旅行なんかで生活リズムが変わったり、色んな事が重なりあったときに測ったら、数値が上がったりするんですよ。

いろんな背景と比例しながら検査して、クリーニング、その後は表面をつると汚れが付きにくくして、最後はフッ素。歯周ポケットのリセットですね。

足立歯科の患者さんは、歯石がいっぱいついてる口ではないんですね。でも、ポケットの中には摂り残しとか歯石の前の段階の雑菌とかはあるので、それをきれいに取らせていただく手順です。統計を取っても、皆さんコントロールしているんで、歯を失っている本数が少ないです。だから、これであってるんだなって。

K…3か月の検診で、すごく励みになるんですね。出血率が出ますでしょ。そしたらね、次はもっとがんばらないといけないとかね。それがなければ、みがき方も多分いいかげんで、自分の満足だけで終わってしまう。歯間ブラシとか使って、ちょっとでもよくしときたいんです。

S…皆さんそうおっしゃって、パーセンテージを覚えてる方もたくさんいらっちゃって、前回何パーセントやったから、今日はこれが終わるまではどきどきするけど、これ終わったらもう終わった気になる。後は、寝たいみたいない感じが

おっしゃるので、みなさん結構これをシビアに捉えてらっしゃるというのはすごわかりますね。

でもまあ、そのくらい意識を向けていただくと、歯ってちゃんとしておけば、一生自分の歯で過ごせるんですよ。ご紹介していただいたご友人方も、皆さんご自分の歯ですからね。

K…〇〇さん上手にしていたいただいたおかげで、にこにこして喜んでました。あの時、よく電話をかけてくれたって。あの一言がなかったら、絶対伺えてないって。

S…皆さんきっかけですよ。

よく言われるんですけど、保険が利かないから言いにくいとか。その辺のことについてはどのように捉えてらっしゃいますか？

K…かけないといけない対価、価値観だと思います。

私は、目と歯が一番大事。この年になると、インプラントは怖い。だから、自分の歯で最後までおいしくいただきたい。それに対する投資というか。皆さんそれぞれ価値観がありますからね。

お友達に紹介する時に、年金だからと言われるとね……。いい先生いない？って言われても、その方の経済状態が一番ですよ。どこまで歯に対して重きを置いてらっしゃるか。

ちょっと治してもらったらいいかというような方には言えない。歯に一生懸命になってらっしゃる方には、お話しできるんですけど。そこがむずかしいところ。

S…保険は最低限の保障であり、手順、材料とかも決められているんです。

院長の考え方は、1回治療をしたら一生それで過ごしていただきたいんです。材料、治療の仕方、手順もこだわって、しっかりお話を聞いてコミュニケーションを大事にして、時間をかけないといけないので、保険の枠では無理なんです。保険では、時間の部分は保障してくれないんです。保険治療は数をこなさないで採算があわないので、一人に時間をかけるなんてまず無理なんです。

K…1日に、長い時間をとっていただいて回数は来なくていいから、それが一番。保険のところだったら、ちょこちょこ長くなる。先生は短い期間でして下さるので、それはものすごくありがたいです。

ずっと診て頂いていると安心。なにか変化があっても早めに処置できるっていうね。

みんな、そんなに一回に時間を取ってくれるの？って言います。

S…いっぺんにする方だと、半日かかる方も。遠くから来られる方もいらっやいますし。生活に支障ないところまでは一気に治療をして、また次の来院日に進めるという感じで。

とにかく、長くご自分の歯で咬んでいただけることが嬉しいと思っています。

K…やっぱり、朝起きて健康で歯の調子がいいと、すごくさわやかで気持ちいいですものね。歯や歯茎が痛いとか、何かあるとその日1日うらうらしくなる。歯が痛いとか食べられないし。

おしゃべりしたら、口元を見ますでしょ。先生の本じゃないけど！

自然とね、きれいな歯をされているとか歯並びがいいなとか、目元、口元って見ますね。きれいな口元って見る方も気持ちいい。

先生の本を読んでも、口に手をあててたのが、大きく口を開けて笑えるようになったとか、それ本当にその立場に立ったらそうだと思います。

S…掲載を依頼した方には、文章でいただいてその中から読みやすいようにアレンジしてますけど。

K…先生が書かれたのかな～って。

S…患者さんに経緯を書いて頂いて、その中から数人分を物語風にアレンジしていますけど、作り話ではなく、患者さんが体験されたことをもとに書かれた本なんです。是非お読みいただいて、困っている人へのきっかけとなりたいと思います。

K…若いうちって歯に深刻じゃなくて、加齢になってくるといろいろとね。

読んでみて、私も！って思い当たることがあると思う。助けてもらえるところがあるってすごく大きくなって思いました。

自分が読んでよかったら、周りの人に楽しく読めるよって、自然と関心を持つようになっています。

いつでも読めるし、困ってるけど行きたい歯医者が見つからないという方結構あると思う。いい本出されましたね。先生お忙しいのに、よく書かれましたね。

S…先生のいろんな思いが詰まった本なんです。

K…隅田さんにお会いできたら嬉しいです。本当、隅田さんきれいな歯をしてらっしゃる。やっぱり、お手入れが違います。

熊田泰子さん

当院の隅田

